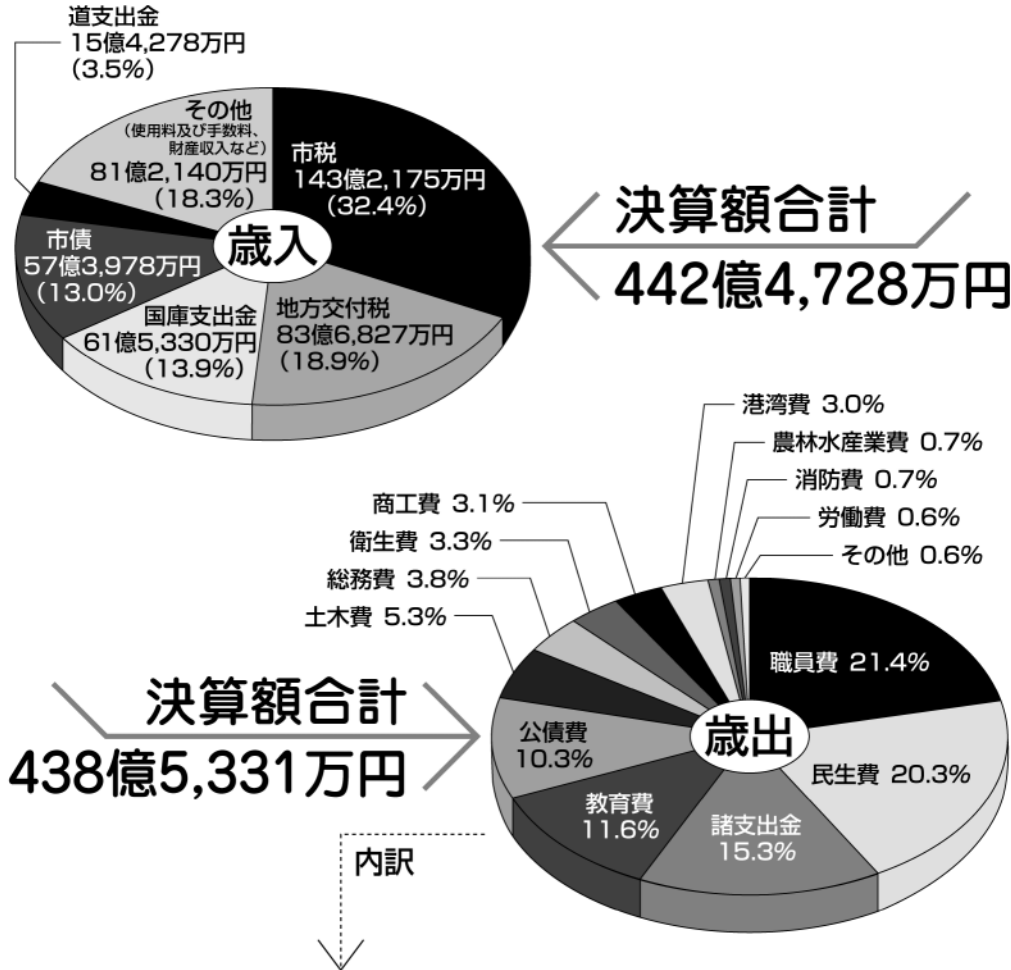


## 一般会計 歳入・歳出の決算状況



# 平成14年度 室蘭市の決算状況

平成15年12月開催の第4回市議会定例会で認定された、平成14年度の各会計決算状況についてお知らせします。

## 一般会計歳出 歳出決算額と主な事業

科目	決算額(万円)	主な事業	(万円)
総務費	16億4,794	地域交流センター(石川町)整備 開港130年・市制施行80年記念事業	(9,884) (6,721)
民生費	88億7,956	生活保護扶助費 身体障害者及び知的障害者措置費 公立及び私立保育所運営費	(49億4,454) (10億161) (5億668)
衛生費	14億5,773	ごみ減量化、家庭系ごみ有料制に伴う実施経費 西いぶり廃棄物処理広域連合負担金	(1億6,529) (2億8,521)
労働費	2億8,037	高齢者等雇用奨励金 若い力・人づくり奨励事業費	(519) (1,481)
農林水産業費	3億2,202	追直漁港新港区施設整備	(4,859)
商工費	13億7,303	中小企業振興資金等融資貸付金 産業振興助成金	(10億6,750) (1,431)
土木費	23億1,394	道路・街路整備 除排雪及びロードヒーティング維持管理経費 公園整備	(10億2,584) (4億1,964) (8,351)
港湾費	13億1,135	港湾振興促進経費〔総合静脈物流拠点港推進ほか〕 港湾施設整備〔浮体式防災施設整備ほか〕	(249) (11億9,147)
消防費	3億230	消防署高砂出張所建設	(1億2,921)
教育費	50億8,305	私立高校教育振興費補助金 海陽小学校建設 市民会館整備	(2,540) (14億8,921) (13億4,869)
公債費	45億565	長期借入金の元金・利子と一時借入金の利子など	
諸支出金	67億1,109	特別会計への繰出金や貸付金、企業会計への繰出金など	
職員費	94億78	職員の給料・諸手当など	
その他	2億6,450	議会費、災害復旧費	

## 財政用語解説

### 歳入の基礎知識

#### 市税

▶市の予算を支える重要な収入で、景気低迷、地価の下落などで前年より約3億3千万円減少。

#### 地方交付税

▶自治体の財政力に応じて、使途は特定されずに交付される。前年より約8億3千万円減少。

#### 国庫支出金

▶国から負担・補助・委託される収入。海陽小学校建設などで前年より約4億7千万円増加。

#### 道支出金

▶道から負担・補助・委託される収入。道道用地買収受託事業などの減で前年より約8億9千万円減少。

#### 市債

▶建設事業などの長期借入金。海陽小学校建設や市民会館整備などで約24億4千万円増加。

## 特別会計・企業会計 決算額と事業内容

会計名	決算額(万円)				事業内容
	歳入	歳入	歳出	歳出	
国民健康保険	歳入	96億732	歳出	93億8,879	国民健康保険加入者が保険料を負担し合い、医療費を賄う制度です。・被保険者数3万4,806人 ・1人当たり給付額23万5,521円(老人を除く)
土地区画整理	歳入	14億5,379	歳出	16億9,405	八丁平地区では換地処分を行い事業が完了。中央地区ではレインボー公園が完成したほか、NTT西ビルの移転に着手しました。
住宅事業	歳入	13億827	歳出	12億9,153	高砂・天神町団地2棟18戸が完成したほか、公共賃貸住宅ストック総合活用計画を策定しました。
老人保健	歳入	124億131	歳出	122億8,701	71歳以上(平成14年10月から)の各健康保険加入者にかかる医療費を給付する制度です。 ・受給者数1万5,457人 ・1人当たり医療費78万1,688円
介護保険	歳入	49億102	歳出	48億8,524	40歳以上の被保険者が、寝たきりや痴ほう等で介護が必要となったとき、要介護認定を受けてサービスを利用する制度です。 ・要介護認定者数3,408人 (65歳以上:3,288人、40歳~64歳:120人)
水道事業	収益的収入	21億6,238	収益的支出	19億1,655	幕西高区配水池改良工事、千歳浄水場動力ケーブル改良工事のほか、管網整備のため送配水管布設8,963mを実施しました。
	資本的収入	4億5,543	資本的支出	9億8,665	
工業用水道事業	収益的収入	1,265	収益的支出	993	給水事業所数は1事業所で、年間給水量は743,342m <sup>3</sup> でした。
病院事業	収益的収入	101億9,861	収益的支出	111億2,837	デジタル画像読み取り装置を導入するなど医療サービスの向上を図りました。 ・入院患者延べ196,755人・外来患者延べ317,077人
	資本的収入	6億3,316	資本的支出	8億5,410	
中央卸売市場事業	収益的収入	3億1,441	収益的支出	2億5,190	市場の効率的運営と青果・水産物の安定した供給に努めています。 ・青果物取扱量28,953t・水産物取扱量13,035t
	資本的収入	2,175	資本的支出	1,904	
白鳥台開発事業	収益的収入	6,721	収益的支出	2,079	個人宅地2区画659m <sup>2</sup> を分譲しました。15年度も個人宅地、集合宅地、店舗用地の分譲を行っています。
港湾整備事業	収益的収入	3億359	収益的支出	2億7,157	倉庫・上屋14棟、荷役機械2基、用地等の貸し付けによる運営を行いました。
	資本的収入	50	資本的支出	1億6,554	
下水道事業	収益的収入	27億4,135	収益的支出	24億5,632	本輪西地区・陣屋地区の整備を重点的に進め、処理区域内人口は97,713人となりました。
	資本的収入	19億7,058	資本的支出	24億7,450	

## 全会計・公社 債務等の状況

市債の現在高

特別会計及び企業会計の  
赤字(累積資金収支不足額)  
の状況

公社に対する  
損失補償・債務保証の状況

(単位:百万円)

(単位:百万円)

(単位:百万円)

会計名	13年度	14年度	
一般会計	35,618	37,880	
特別会計	土地区画整理	3,211	3,507
	住宅事業	3,537	3,401
	水道事業	5,643	5,868
企業会計	病院事業	15,074	14,657
	市場事業	658	639
	港湾整備事業	980	829
	下水道事業	17,610	17,637
合計	82,331	84,418	

会計名	13年度	14年度	
特別会計	国民健康保険	305	282
	土地区画整理	116	240
	住宅事業	240	173
企業会計	病院事業	577	648
	市場事業	946	839
	白鳥台開発事業	1,373	1,316
	港湾整備事業	9,555	9,548
	下水道事業	6,612	6,314
合計	19,724	19,360	

公社名	13年度	14年度
株室蘭振興公社	3,234	3,042
土地開発公社	5,623	5,410
合計	8,857	8,452

# 指標で見る 財政状況

(普通会計)



## 経常収支比率

市税や交付税などの経常的一般財源収入に占める、人件費などの義務的経費や公共施設の維持管理費などの経常的経費の割合で、80%以下が健全とされています。

	13年度	14年度
経常収支比率	89.8%	91.2%
うち人件費	38.2%	35.1%
うち職員給	23.3%	22.6%



人件費が大きく減少したものの、生活保護費などの扶助費、西いぶり廃棄物処理広域連合への負担金などが増加し、収入では市税や地方譲与税などが大幅に減少したことで、1.4ポイントの増加となっています。

## 公債費比率

標準財政規模に対する公債費(長期債元利償還金)に充てられた一般財源の割合で、10%以下が望ましいとされています。

	13年度	14年度
公債費比率	12.9%	13.4%

建設事業の厳選および交付税措置される起債の活用により改善に取り組んでいます。前年度に比べ、0.5ポイントの増加となっています。



標準財政規模とは、交付税上の考え方で、通常の行政活動を行う上で必要な一般財源の総額をいいます。

## バランスシート

バランスシート(貸借対照表)は、道路、公園、学校などのまちの「資産」がどのくらいあるのか、また、それにかかった借金などの「負債」がどのくらいあるのかということを示します。今回は次の5つの指標で市民1人当たりの額などを紹介します。

普通会計とは、統計上の会計で、財政状況を他市町村と比較するために用いられます(室蘭市の場合は、一般会計+区画会計の一部+住宅会計)。

### 1 市民1人当たりの資産額

資産合計	12年度	13年度	14年度
住民基本台帳人口 (各年度末)	115万円	119万円	123万円

資産とは、道路、公園、学校などの「有形固定資産(社会資本)」と外郭団体への出資金などの「投資」、現金、預金などの「流動資産」をいいます。

### 2 市民1人当たりの負債額

負債合計	12年度	13年度	14年度
住民基本台帳人口 (各年度末)	53万円	53万円	55万円

負債とは、地方債残高などの「固定負債」と1年以内に償還しなければならない「流動負債」をいいます。

### 3 市民1人当たりの地方債残高

地方債残高	12年度	13年度	14年度
住民基本台帳人口 (各年度末)	41万円	41万円	44万円

14年度の地方債残高は、市民会館整備事業債(8億6,620万円)や、普通交付税の一部が地方の借金として振り替えられた臨時財政対策債(1億4,460万円)などにより増加しています。

### 4 地方債残高に対する将来世代の負担割合

地方債残高 (流動負債計上分を除く)	12年度	13年度	14年度
有形固定資産合計	37.8%	37.1%	37.8%

社会資本形成における将来世代の負担割合は、前年比で0.7ポイント増加しています。

### 5 社会資本の老朽化率

減価償却累計額	12年度	13年度	14年度
有形固定資産取得価格合計	42.9%	43.6%	44.1%

老朽化率が上昇しており、今後の維持コストがかさむ傾向にあります。

減価償却とは、建物など固定資産の価値の減少を一定の計算方法で把握することです。算定された価値の減少分を減価償却費といいます。



# 平成15年度予算 上期の執行状況

## 一般・特別・企業会計の執行状況

（前年度からの繰越事業費を含む）

（単位：百万円）

会計名	予算現額	歳入		歳出	
		収入済額	執行率（%）	支出済額	執行率（%）
一般会計	43,071	18,423	42.8	18,145	42.1
特別会計	30,244	11,258	37.2	13,132	43.4

（単位：百万円）

会計名・予算区分		予算現額	執行済額	執行率（%）
企業会計	収益的	収入	15,215	49.8
		支出	15,604	46.6
	資本的	収入	3,119	24.7
		支出	4,764	36.9

平成15年度予算の9月30日現在の執行状況などをお知らせします。

## 借入金の状況

市債の現在高

（単位：百万円）

会計名	現在高
一般会計	35,394
特別会計	6,665
企業会計	38,650

一時借入金の現在高

（単位：百万円）

会計名	現在高
一般会計	400
特別会計	1,300
企業会計	19,943

### 市債と一時借入金



市債——市が、主に道路や公園などの公共施設を整備するために借り入れるお金で、返済は1会計年度を超えて行われます。

一時借入金——市が各種の支払いをするに当たり、一時的に現金が不足する場合に金融機関から借り入れるお金で、返済はその年度内に行われます。

## 完売御礼！ 第2回「らんらん債」

10月に発行した第2回「らんらん債」は、前回に引き続き即日完売となり、好評でした。その販売結果をお知らせします。

（ ）内は第1回目のデータ

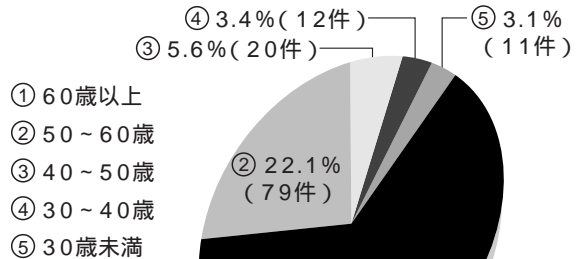
### 平均購入額

販売件数	平均購入額
358 (320)	97万8,000円 (156万3,000円)

発行額は3億5,000万円  
(第1回目は5億円)



### 年齢別販売件数（個人）



第3回目の発行は10月ころを予定しています。詳細が決まり次第、広報むろらん、室蘭市ホームページなどでお知らせします。

### 個人と法人・団体販売分の内訳

	件数	金額	比率
個人	356 (311)	3億4,800万円 (4億7,550万円)	99.4% (97.2%)
法人・団体	2 (9)	200万円 (2,450万円)	0.6% (2.8%)
計	358 (320)	3億5,000万円 (5億円)	100.0% (100.0%)

今回お知らせした財政状況やミニ公募債の情報については、室蘭市のホームページでもご覧になることができます。また、予算の執行状況などの詳しい内容を記載した「財政事情説明書」を本庁3階財政課、東・中島サービスセンターに置いています。